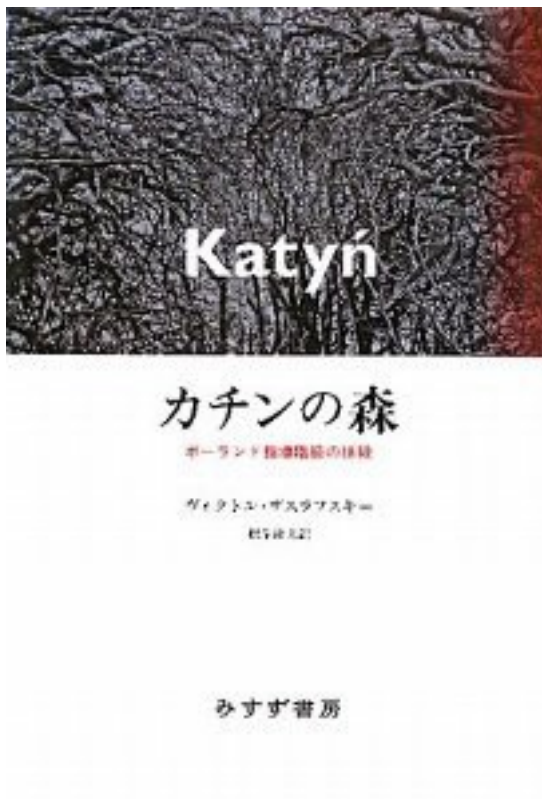


カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺



[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺 下载链接1](#)

著者:ヴィクトル・ザスラフスキー

出版者:みすず書房

出版时间:2010/7/10

装帧:

isbn:9784622075394

1939年8月の独ソ不可侵条約、それにもとづく両国の相次ぐポーランド侵攻、こうして第二次大戦ははじまった。1940年春、ソ連西部、スモレンスク郊外のカチンの森で、ソ連秘密警察は約4,400人のポーランド人捕虜将校を銃殺した。犠牲者数は、同時期に他の収容所などで殺されたポーランド人と合わせて22,000人以上。職業軍人だけでなく、医師、大学教授、裁判官、新聞記者、司祭、小中学校教師など、国をリードする階層全体におよんだ。

しかしソ連は、犯人はドイツであると主張。
さらに連合国もすべてソ連の隠蔽工作に加担し、冷戦下も沈黙を守りつづけた。
ソ連が事実を認めたのは1990年、ゴルバチョフの時代。
92年になるとスターリンの署名した銃殺命令書も閲覧可能になる。
スターリンが、ポーランドという国自体を地図から抹消しようとした理由は何か。
なぜゴルバチョフは、もっとも重要な文書の公開に踏み切れなかったのか。
著者は簡潔にバランスよく、
独ソ不可侵条約とカチン虐殺の関係、欧米列強の対応と思惑、
歴史家の責任、さらにはカチンに象徴されるソ連全体主義の根本的な問題と、
ふたつの全体主義国家（ナチ・ドイツとソ連）の比較まで、最新資料を駆使しながら
解析する。日本では類書はきわめて少ないが、欧米では蓄積がある。
本書はそのなかでも決定版として評価が高い。
今後、20世紀ソ連の全体主義見直しのなかで、ますます重要度を増すことだろう。
2008年、ハンナ・アーレント政治思想賞を受賞。

作者介绍:

目录:

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺_ダウンロード1](#)

标签

评论

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺_ダウンロード1](#)

书评

[カチンの森 - ポーランド指導階級の抹殺_ダウンロード1](#)